

## 静岡県林業技術者協会伐木造材技術競技会要綱

### 1 競技内容

機械審査、立木で行う伐倒競技、疑似伐倒木で行う枝払い競技、丸太で行う輪切り競技とする。

### 2 競技対象木の通知

競技対象木の大きさや樹種、競技地の条件等は競技会のおおよそ 20 日前までに通知する。

### 3 競技者が使用する機資材

- ① **法定適合シールが貼られた、慣性式チェーンブレーキを備えたチェーンソー**とする。
- ② チェーンソーの排気量やバーのサイズは、通知された競技対象木の大きさに適したものとする。
- ③ ソーチェーンの規格及び刃の大きさは問わない。
- ④ 競技に使用する伐倒、造材等に必要な用具は、競技者各自が判断し用意する。

### 4 チェーンソーの安全装置

- ⑤ チェーンブレーキが慣性点検で作動すること。
- ⑥ チェーンキャッチャーの脱落、破損がないこと。
- ⑦ スロットルトリガーロックアウトの脱落、破損、作動不良がないこと。
- ⑧ 防振スプリング（ゴム）の脱落、破損がないこと。
- ⑨ 前後ハンドガードの脱落、破損がないこと。
- ⑩ 上記の**安全装置が全て正常でない場合は失格**とする。

### 5 服装と保護具

- ⑪ 破損の無い防護ズボン若しくは防護チャップスを着用する。
- ⑫ 袖締りの良い長袖を着用する。
- ⑬ 安全靴若しくは安全地下足袋を着用する。
- ⑭ ヘルメットと共に、あご紐、イヤーマフ、フェイスガード（ゴーグルのみの着用は不可）を着用する。
- ⑮ 防振手袋を着用する。
- ⑯ 笛を携帯する。
- ⑰ 上記の**適正な服装と保護具が着用されていない場合は、失格**とする。

### 6 伐倒競技

#### ① 競技前準備

- 競技木から約 10mの位置に伐倒方向明示杭を設置する。
- 退避場所に退避場所明示杭を設置する。
- 競技木周囲の整理を行う。
- 必要があれば牽引具を設置し、掛かり木の処理の準備を行う。

## ② 伐倒競技

- 選手は、退避場所で使用機材とともに待機をする。
- 審査員の合図により、競技を開始する。（時間計測開始）
- 受け口の作成が終わり、受け口確認を行った後、計測のため競技を中断する。（時間計測中断）
- 審査員の合図により競技を再開する。（時間計測再開）
- 選手は、退避場所へ戻り伐倒競技終了の申告をする。（伐倒競技時間計測終了）

## ③ 掛かり木

- 掛かり木の申告は選手が行い、選手自らが掛かり木処理を行う。（申告から処理終了までは時間計測中断）
- ツルの修正や切断は原則禁止とし、審査員が必要と判断した時は指示をする。
- 掛かり木処理の終了は競技者が申告し、審査員の合図で競技を再開する。（時間計測再開）
- 競技者の終了申告により伐倒競技を終了する。（伐倒競技時間計測終了）

## ④ 反則

- **競技木へのマーキングは反則**とし、受け口作成時、追い口作成時ともに各－50点とする。
- **芯切、斧目も反則**とし、どちらかを行った場合でも－50点とする。

## ⑤ 計測基準

### I. 受け口

- 「水平切高さ」 地際から 15 cm以内
- 「水平切深さ」 競技木の状況により指示された審査基準による
- 「斜め切角度」 45 度以上
- 「会合線」 完全な一致
- 「伐倒方向水平」 0 度
- 「横方向水平」 0 度

### II. 追い口

- 「追い口高さ」 競技木の状況により指示された審査基準で同じ高さに揃える
- 「ツル幅」 競技木の状況により指示された審査基準で同じ幅に揃える
- 「伐倒方向水平」 0 度
- 「横方向水平」 0 度

## ⑥ 競技補助員

- 競技開始後に競技会場に入れる補助員は、選手 1 人当たり 2 人までとする。

## 7 枝払い競技

### ① 枝払い競技

- 選手は、チェーンソーがスタートラインから出ないように待機し、審判の合図でスタートする。（時間計測

開始)

- チェーンソーのバーの先端がゴールラインに到達したら競技終了とする。(時間計測終了)
- バーが幹の自分側にある時に歩いた場合は反則とし、歩いた回数ごとに-20点とする。

## ② 計測基準

- 0.5 cm以上の幹のえぐれは、1か所毎に-10点
- 0.5 cm以上の枝払い残しは、1か所毎に-10点

## 8 輪切り競技規定値

### ① 輪切り競技

- 左右2方向にマーキングをした丸太を水平に設置して行う。
- 設置された丸太の左右方向のマーキング内で合せ切を行う。
- 合せ切は、上下どちらから始めても良い。
- 回し切は不可。
- 同点の場合は、切り口の仕上りで判断する。

### ② 計測基準

- 「輪切り幅」 5.0 cm
- 「合せ切面段差」 0 cm

## 9 審査

- 減点法による審査を行う。
- 各競技の審査は、2～5名の審査員により行う。
- 伐倒競技は、計測班を追加し2班で審査を行う。

## 10 競技中の失格

① 競技中に以下のようなチェーンソーの不具合が生じ、すぐに競技の再開が出来ない場合は、以降の競技の続行が出来なくなり、不具合が生じる前までに得た得点のみとなる。

- 燃料、オイル漏れ
- エンジンの始動が困難
- オイルポンプの不具合
- ソーチェーンの脱落、引きちぎれ

## 11 伐倒競技の安全確保

- 見学者の安全を確保するため、6名以上の安全管理班を指名する。
- 安全管理班は、競技の支障となる範囲に見学者を立ち入らせないと共に、ロープ等を使用して安全を確保する。
- 伐倒競技審査員は、競技者が追い口切を行う前に安全を確認し、安全確保の確認がとれた後に競技を再開する。